

【死産届記載例】

別記様式(第三条関係)

死産届

令和5年12月13日 届出

愛知県尾張旭市長殿

受付	年 月 日	令和 年 月 日	調査票作成
	事件簿番号	死産第 号	

(1) 父母の婚姻直前の本籍 <small>(外国人のときは国籍を書いてください。)</small>	父	母
	都道府県名 愛知県	都道府県名 愛知県
(2) 氏名 生年月日 <small>(死産があったときの年齢)</small>	尾張 太郎 平成3年6月12日(満32歳)	尾張 花子 平成4年9月7日(満31歳)
	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 不詳 <input checked="" type="checkbox"/> 嫡出子 <input type="checkbox"/> 嫡出でない子	
(3) 死産児の男女別及び嫡出子か否かの別		
(4) 死産があったとき	<input type="checkbox"/> 午前 <input checked="" type="checkbox"/> 午後 令和5年12月12日 2時00分	
死産があったところ	愛知県尾張旭市平子町北61番地	
(5) 死産があったときの母の住所 <small>(住民登録をしているところを書いてください。)</small>	愛知県尾張旭市東大道町原田2600番地1	
(6) 死産があったときの世帯の主な仕事と父	<input type="checkbox"/> 1 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input checked="" type="checkbox"/> 4 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6 仕事をしている者のいない世帯	
(7) 母の職業	(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに死産があったときだけ書いてください。) 父の職業 母の職業	
(8) この母の出産した子の数	出生子(出生後死亡した子を含む。) …………… 1人 妊娠満22週以後の死産児(この死産児を含む。) …………… 胎 妊娠満21週以前の死産児又は流産死胎(この死産児を含む。) …………… 1胎	
届出人	<input checked="" type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 同居者 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 助産師 <input type="checkbox"/> その他の立会者	
	住所	愛知県尾張旭市東大道町原田2600番地1
	氏名	尾張 太郎

注： 嫡出でない子を選択した場合、届出人は母になります。その場合、父の欄は空欄にしておいてください

**死産証書（死胎検案書）は医師、助産師が作成します。
死産届の届出人が記入する箇所はありません。**

別記様式(第三条関係)

死産証書(死胎検案書)

この死産証書(死胎検案書)は、我が国の死産統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

夜の12時は、「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

死産児の男女別	1 男	母の氏名	尾張 花子		
	2 女	妊娠週数	満 20 週 2 日		
	3 不詳				
死産があったとき	令和 5 年 12 月 12 日		午前・午後	2 時 00 分	
死産児の体重及び身長	体重	150	グラム	身長	35 センチメートル
胎児死亡の時期 (妊娠満22週以後の自然死産に限る)	① 分娩前 2 分娩中 3 不明				
死産があったところの種別	① 病院 2 診療所 3 助産所 4 自宅 5 その他				
死産があったところ及びその種別	死産があったところ		愛知県尾張旭市平子町北61		
	[死産があったところの種別1~3] 施設の名称		旭労災病院		
単胎・多胎の別	① 単胎 2 多胎 (子中第 子) 3 不詳				
死産の自然人工別 ◆胎児を出生させることを目的として人工的処置を加えたにもかかわらず死産した場合は「自然死産」とします	① 自然死産 2 母体保護法による人工死産 3 母体保護法によらない人工死産 4 不明				
自然死産の原因若しくは理由又は人工死産の理由 ◆1の(ア)欄には直接原因又は理由を胎児の側か母の側のいずれかに分けて書き、さらにそれと因果関係のある原因又は理由があれば(イ)欄(ウ)欄と続けて、それぞれ胎児又は母の側に分けて書いてください ただし、胎児又は母の側いずれか決めかねる場合は、母の側に書いてください ◆自然死産か人工死産か不明の場合は、自然死産の欄に書いてください	自然死産の場合		人工死産の場合		
		胎児の側	母の側	1	疾患名
	ア 直接原因又は理由	不詳	不詳	母体側の疾患による	
	イ (ア)の原因			2	理由
ウ (イ)の原因			その他		
エ (ウ)の原因			1	疾患名	
II 直接には死産に関係しないが、I欄の経過に影響を及ぼした傷病名等			母体側の疾患による		
			2	理由	
			その他		
胎児手術の有無	① 無 2 有 (部位及び主要所見)				
死胎解剖の有無	① 無 2 有 (主要所見)				
① 医師	上記のとおり証明(検案)する 証明(検案)年月日 令和 5 年 12 月 12 日				
2 助産師	本証明書(検案書)発行年月日 令和 5 年 12 月 12 日				
	[病院、診療所若しくは助産所の名称及び所在地又は医師若しくは助産師の住所] (氏名)		愛知県尾張旭市平子町北61番地 労災 一郎		

I欄及びII欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を中心に書いてください。